

## 多良木高等学校 平成28年度学校評価表

<p><b>1 学校教育目標</b></p> <p>くまもとの教職員像の教育行動指標である「認め・ほめ・励まし・伸ばす」を全ての教育活動の基盤とし、校訓「平和・勤労・進取」を背景に、社会人としての基礎をつくる。</p> <p>そして、「志高く キラリ輝く『多高生』～夢・汗・涙”感動体験”～」のキャッチフレーズのもと、学校を人間成長の場と位置づけ、様々な「感動体験」を通し、「豊かな心」を育み、「生きる力」を身に付けさせる。</p> <p>更に、生徒一人一人の教育的ニーズに応じて指導し、進路目標の達成のために学力向上を中心とした取り組みを実践するとともに、社会に貢献できる人材の育成を図る。</p> <p>併せて、「地域に根ざし、地域に開かれた学校づくり」を積極的に推進し、「地域から愛され、地域から信頼される学校」を目指す。</p>
--

<p><b>2 本年度の重点目標</b></p> <p>1 求める生徒像</p> <p>(1) 基本的生活習慣が確立できる生徒</p> <p>(2) 自ら意欲的に学ぶことができる生徒</p> <p>(3) 夢や希望に向かって努力する生徒</p> <p>(4) 「個」を大切に、「公」も大切にする生徒</p> <p>(5) 地域を知り、地域に貢献できる生徒</p> <p>2 努力目標</p> <p>(1) 自らを律する力の育成</p> <p>(2) 学力の向上</p> <p>(3) 進路希望の達成</p> <p>(4) 豊かな人間関係、コミュニケーション力の醸成</p> <p>(5) 心身の健康増進</p> <p>(6) 個に応じた指導の徹底</p> <p>(7) 情報化社会に対応する能力の育成</p> <p>(8) 地域に開かれた教育の充実</p>
--

3 自己評価総括表						
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
学校経営	学校活性化	○生徒及び地域に取って魅力のある学校となっているか	○生徒の年度途中の進路変更者を1人も出さない ○「多良木高校に来て良かった」との自己評価100%を目指す	○会議や事務を精選して、教職員が生徒に関わる時間を増やす ○支援学校や小学校、地域の方々との交流する機会を増やす(学校行事の開放、ボランティア活動の充実)	B	○各部連携して対応したが、5人の進路変更の生徒が出た ○体育コース、福祉教養コース等地域、支援学校との交流、ボランティアを積極的に行った
		○職員がやりがいを感じ、生き生きと働いている学校であるか	○職員の休職や長期の私傷病を1人も出さない	○職員の在校時間調査を通し、適正な業務分担となっているか確認する ○会議や事務の精選を図り、職員が生徒に関わる時間や教材研究の時間を確保する		B
	安全管理	○学校管理下での事故が起こらないような対策ができていないか	○校舎内外の危険箇所をなくし、学校管理下での事故をゼロにする	○毎学期に綿密な安全点検を行い、日常で施設設備の点検と迅速な修理を行う	A	○毎学期安全点検を実施した。日常においても各職員が気を配り危険箇所の報告修理を行った
		○職員の不祥事が起きる土壌はないか	○職員が加害者としての交通事故や不祥事が1件もない	○計画的な職員研修を実施し、職員の連帯感を醸成する		A

<p>学力向上</p>	<p>学力向上</p>	<p>○各学年や各教科で適切な内容及び分量の学習課題を課し、学習時間を増やす取組を積極的に行っているか</p> <p>○生徒が積極的に授業に取り組む環境作り、及び教師の魅力ある授業展開が共になされているか</p>	<p>○1日あたりの平均家庭学習時間を、70分確保する。</p> <p>○家庭学習課題「日々の演習」の全員提出</p> <p>○YEBISUゼミ出席率95%以上</p> <p>○授業に積極的に取り組んでいる生徒及び授業に満足している生徒が共に80%以上 (生徒による授業評価アンケート)</p>	<p>○家庭学習時間を記録し、統計や成績との相関を生徒に還元する。</p> <p>○日々の演習の未提出者に個別指導</p> <p>○魅力ある内容のYEBISUゼミを実施する。また、欠席者に指導を行う</p> <p>○シラバス等による評価方法の提示、教師によるわかる授業の実践及び教材研究の工夫</p>	<p>○1日当たりの平均家庭学習時間は66.1分と目標は達成できなかったが、数値は昨年度よりも上昇した。毎日課している宿題への取組が増加に繋がっていると思われる。継続した取組を行いたい</p> <p>B</p> <p>○個別指導でほぼ全提出できた</p> <p>○YEBISUゼミ出席率95.4%で目標を達成した。取組の成果、各種検定の受検者が増加する等、生徒の意欲が増した</p> <p>○授業アンケートより授業に積極的に取り組んでいる生徒1学期90.2%→2学期92.5%、授業に満足している生徒1学期90.5%→2学期91.6%と目標を達成できた</p>
	<p>授業力向上</p>	<p>○教師間の相互公開授業や、年2回の生徒を対象にした授業アンケート結果を踏まえ、授業の改善を積極的に行っているか</p> <p>○各教科における研究授業、公開授業の実施計画を達成できたか</p>	<p>○相互公開授業週間を年2回実施する</p> <p>○生徒による授業アンケートを年2回実施する</p> <p>○教師の説明がわかりやすいと感じる生徒80%以上</p> <p>○研究授業を計画的に実施する</p>	<p>○相互公開授業週間中に最低3回の公開と2回の参観を課す</p> <p>○生徒による授業アンケートを年2回行い、授業改善案の提出を課す</p> <p>○授業アンケートの結果を踏まえた、教科会の実施</p> <p>○研究授業の年間計画をもとに研究授業の実施を呼びかける</p>	<p>○相互公開授業週間を年2回実施でき、8割超の職員が指定された回数参観ができた。3回以上参観した職員も多数おり、活発な意見交換ができた</p> <p>B</p> <p>○生徒による授業アンケートは計画的に実施できた</p> <p>○教師の説明がわかりやすいと感じる生徒は1学期83.0%→2学期84.8%と増加し目標を達成できたが、年度末の学校評価アンケートでは昨年度から7.5ポイント下回った。特に1年生での下降が30.4ポイントと目立った</p> <p>○研究授業を計画的に実施できた</p>
<p>キャリア教育 (進路指導)</p>	<p>進路意識の高揚</p>	<p>○キャリア教育について、学習プログラムの見直しができているか</p> <p>○学力向上や資格取得について積極的に取り組むよう意識付けを図っているか</p> <p>○生徒の進路意識を高めるガイダンスやタイムリーな情報の提供が行</p>	<p>○生徒の実態に合った学習プログラムを計画的に実施する</p> <p>○3年次では全員が一つ以上の資格取得をしている状態を目指す</p> <p>○ガイダンスの時期や内容を見直す。また、キャリアサポーターや企業・上級学校の情報の共有を</p>	<p>○「総合的な学習の時間」における進路学習を、より適切な時期に適切な指導を行う</p> <p>○「総合的な学習の時間」においても学力向上に向けた取り組みを実施する。また、資格取得に向けた取り組みを各教科に働きかけ、資格の優遇措置等の情報提供を行う</p> <p>○生徒の実情に応じた体系的ガイダンスを計画する。また、企業や上級学校の情報の集約と発信</p>	<p>○キャリア教育の観点から、3年間を見据えた学習プログラムを引き続き検証し、適宜、追加・修正を図る</p> <p>B</p> <p>○進路ニュースで資格(検定等)取得のメリットを掲載し、昨年度3年生の資格取得率(92.3%)よりも上昇(93.8%)したが、3年生全員取得は達成できなかった</p> <p>○震災の影響により各種ガイダンスの遅延や中止となったが、2年生の企業訪問や1・2年生の校外進路ガイダンスを新たに企画</p>

		<p>われているか</p> <p>○生徒の進路希望を具体的に把握し、適切に進路指導ができてきているか</p> <p>○保護者に対して進路意識を高揚できる手立てが図られているか</p>	<p>図る</p> <p>○進路指導部による面談を行い、生徒の進路希望の把握に努め、担任・学年団との連携を深める。また、1月までの進路決定率を90%以上とする</p> <p>○学年や時期に応じた保護者への情報の発信を行う</p>	<p>を行う</p> <p>○3学年では、学年全体で生徒の進路希望を共有・検討し、適切な対応を図る</p> <p>○資料の提供やガイダンスを実施する。また、進路資料「進取」の発行、PTAと連携した企業訪問・上級学校訪問を実施する</p>	<p>し、柔軟に企画を実施することができた</p> <p>○3年生の1月までの進路決定率は95.3%で目標を達成することができた。今後は就職内定辞退や離職を未然に防ぐために、面談の充実を図る</p> <p>○保護者に対する資料の提供やガイダンスは所期の目標を達成することができた。PTAと連携した進路企画は参加希望者が少なく実施できなかったが、企業訪問については、企業・行政・管内高校とで協議を進めており、次年度は状況に応じて積極的な活用を図る</p>
生徒指導	基本的生活習慣の確立	<p>○全職員で生徒の指導に取り組んでいるか</p> <p>○地域や保護者、中学校等と連携して生徒の指導に取り組んでいるか</p> <p>○多高生としての誇りを持たせる工夫を行っているか</p> <p>○生徒が安心・安全な生活を送る体制づくりができてきているか</p>	<p>○全職員による声かけと対話を通し、多高生としての規範意識の醸成。「歩く広告塔」としての自覚</p> <p>○指導を通し、地域や保護者、中学校との連携を深め、皆で生徒を見守る体制づくり</p> <p>○行事や委員会活動等を通し感動体験の場の提供、「多良木ファミリー」の一員としての高い意識、誇りを育成</p> <p>○二重ロック率年間95%維持、交通安全教育、交通事故防止に努める</p> <p>○携帯電話の危険性について、様々な事例を繰り返し紹介し、生徒、保護者の理解をより深める</p>	<p>○学期1回の全職員による登校指導、日常的登下校指導、定期的校内巡回指導を実施</p> <p>○指導票による指導</p> <p>○列車補導やたまり場等の巡回指導の実施。その際、警察や店舗、鉄道会社、町、中学校等の関係機関との情報交換</p> <p>○インターンシップ等様々な指導場面を通じた保護者や地域との関わり</p> <p>○体育大会、木綿葉フェスタ等の行事や生徒会活動、部活動を通じ、協力して得る感動体験の場の提供</p> <p>○月1回の駐輪場点検、傘差し運転や無灯火、2人乗り等、交通ルールについての日常的指導</p> <p>○携帯電話等情報通信機器利用の情報モラルに関する講演会、全校集会の実施</p> <p>○生徒指導部だよりの定期発行を通じ、生徒、保護者への啓発、情報発信</p>	<p>○朝の声かけ指導は継続的に実施できた。校内巡回は計画的に実施できたが、全職員での登校指導は2学期に実施できなかった</p> <p>○列車補導や巡回指導については計画通り実施することができた</p> <p style="text-align: center;">B</p> <p>○木綿葉フェスタは中止したが、その代替行事として「エンジョイ多良木デー」を行い、クラスマッチを1回増やした。委員会活動も充実し、感動体験の場の提供は達成できた</p> <p>○次年度は、2、3年生のみになるので生徒会行事の工夫、充実が課題である</p> <p>○二重ロック点検は計画的に行ったが、定着率は低く目標95%は達成できなかった。意識付けが今後の課題である</p> <p>○情報モラルLHRをクラス毎に行ったことで意識の向上につなげることができた</p> <p>○生徒指導部だよりについては、学期に2号以上のペースで発行できた</p>

<p>人権教育の推進（心豊かな生徒の育成）</p>	<p>命を大切に する心を育 む指導（人 権・道徳教 育をととし て）</p>	<p>○人権教育や道徳教育のLHRを学期毎に委員会の計画のもと取り組んでいるか</p> <p>○職員が生徒を指導する際、言動が人権に配慮したものとなっているか</p> <p>○生徒に人権を尊重する意識が育っているか</p>	<p>○各学期毎に学年に応じた内容の人権教育のLHRを設定する</p> <p>○職員が人権意識や人権尊重の視点を配慮した言動を実践し、体罰や生徒・保護者からの苦情をゼロにする</p> <p>○本校の人権教育が充実しているという生徒が80%以上、生徒の実態に即した人権教育を実践しているという職員が80%いるようにする</p>	<p>○年間計画に沿って各学年が取り組む</p> <p>○教育支援部と連携して、生徒状況連絡会を実施する</p> <p>○各学年団、進路指導部、教育支援部等の連携を密にし、学校適応指導・就学保障に取り組む</p>	<p>B</p> <p>○定期的に委員会を実施し、人権LHRについて検討を重ねたが、3年生は1、2学期に、1、2年は2学期実施のみにとどまった。次年度は計画的に会議を持ち、年間計画を立案することにより、計画的に実施したい</p> <p>○職員の言動等に関して保護者からの指摘はあったが、丁寧な説明により、御理解いただいた</p> <p>○人権教育が充実していると答えた生徒が86.1%いたが、職員の評価は、昨年度に比べ大幅に減少した。次年度は職員の意識向上のために、職員間での連携を密にして進めていきたい</p>
<p>健康教育の推進</p>	<p>○生徒ひとりひとりが自分の健康課題に意識を持つ指導ができてきているか</p> <p>○健康的な食習慣を身につけさせるために、生徒の食生活を把握と、生徒・保護者への啓発活動が行われているか</p> <p>○安全で快適な教育環境を維持する</p>	<p>○生徒の発達段階や現状に応じた講演会を実施する</p> <p>○生徒の食生活の実態を把握し、改善の方向性を探り、学校・家庭・地域が連携して食育に取り組む</p> <p>○通常掃除の取組姿勢の向上</p> <p>○美化委員会の活性化で、環境リーダーの育成を図る</p>	<p>○保健教育講演会や生徒部と連携しながら薬物乱用防止教室・情報管理講演会を行う</p> <p>○文化祭で食育関連の取り組みを行い、啓発する</p> <p>○伝統料理や郷土料理の料理実習を地域と連携し実施する</p> <p>○校内放送を行い、掃除時間予鈴での移動を促す</p> <p>○委員会を定期で開き、責任を持って担当の仕事に取り組む</p>	<p>B</p> <p>○10月に講演会を実施した。命の尊厳について生徒一人ひとりがしっかりと考える機会になりとても良かった</p> <p>○SNSに関しては大きなトラブルもなく、講演会を繰り返し聞くことでメリットデメリットを理解しつつある</p> <p>○文化祭がなかったので3年生「フードデザイン」での取り組みを家庭科棟で展示した</p> <p>○郷土料理講習を地域の老人会と連携して実施。また郷土料理のアンケートの実施や授業での実習ができた</p> <p>○保護者等への啓発活動は実施できなかった</p> <p>○美化委員が交代で校内放送を担当し、予鈴での移動を促し、多くの生徒が早めの移動ができるようになった。しかし特定の生徒が遅れる傾向が見られた</p> <p>○委員会を開き、各クラスの重点目標を決めクラスへ呼びかけた。美化コンクールについても、委員が計画から評価まで主体的に取り組み実施できた。教室の掃除への取組状況はどのクラスでも向上が見られた</p>	

いじめの防止等	いじめ未然防止	○全ての生徒が「いじめは決して許されない」ことを理解しているか	○いじめの件数を0件とする	○携帯電話等の利用マナーについて、生徒だけではなく保護者への啓発も行う ○学校行事等を通して、生徒同士の繋がりを強くする  ○心のきずなを深める標語の作成を行う	B	○保護者会総会時に携帯電話等の利用についての話をすることができた  ○部活動内での人間関係に関する課題があった。来年度は、顧問会や、キャプテン講習を増やす検討を加える ○心のきずなを深める標語を作成し、生徒会生徒によって優秀作品を選定した。その後、生徒指導部便りで公表した
	いじめの早期発見と対応	○いじめの早期発見と、適切な初期対応がとれているか	○「いじめ」による不登校・進路変更者を出さない ○全職員の共通理解の下、徹底した支援と指導を行う	○6月、11月にアンケートの実施  ○各学年会で、生徒の状況についての確認 ○校内巡回指導や個人面談の実施 ○被害者への支援、加害者への指導を家庭、関係機関とも連携をとりながら徹底していく	A	○アンケートを計画通りに実施することができ、その後の面談、情報共有もスムーズに行うことができた。それぞれのケースにあわせて、具体的な初期対応をすることができた
地域・家庭との連携	情報の発信	○PTA会報誌「木綿葉」や「多高ニュース」を通じて保護者や地域の方々に学校のPRにつとめているか  ○保護者への配付物がきちんと保護者の手元に届いているか	○PTA会報誌「木綿葉」は調査広報委員を中心に4回発行する。「多高ニュース」は10回発行する。中学校にも貼付を依頼し、学校のPR活動に努める ○配付物が生徒の担当箱等に残っていない	○写真の管理を徹底する。また、レイアウトの方法等を検討する。また、複数の制作者が担当し、紙面の充実を図る  ○重要な文書については、担任に協力してもらい、回収を徹底する	A	○「多高ニュース」の発行はやや少なかったが、定期的に作成・貼付することができた。また、PTA会報の作成も調査広報委員会と連携することができた。保護者の89%がPTA会報やホームページが充実していると回答があった ○保護者への配布物の確認が、担任の協力でスムーズにできた
	連携の取組	○PTA会員の意識の向上と協力体制が確立できているか ○学校行事への会員の協力体制が強まったか	○PTA総会の出席率を85%以上とする  ○PTA活動に協力的であるという保護者を60%以上とする	○出欠確認票の完全回収を図るため、提出状況を随時連絡できるようにする  ○評議員会を活発化し、会員への意識向上の働きかけをお願いする	A	○PTA総会の出席率は、85.3%と目標を達成することができた ○ビーチボール大会の参加者が24人で、委員の方々の協力により充実した会となった ○駅伝大会などの学校行事では、母親委員会を中心に、昨年度よりも多くの保護者の協力があった ○「PTA活動が活発であるか」の間に89%がYesと答えた。しかし、「私は協力的である」と回答したのは51.6%で、協力する保護者が特定しているように感じた

#### 4 学校関係者評価

○PTA 活動が活潑になっている。○保護者の意識が変わってきている。○情報モラルについて適切な指導が行われている。○いじめの報告が上がっているが、いずれも解決しているので安心した。○些細なことでも先生に相談できているところが良い。○H29 年度から新入生が入って来ないので、2・3年生の心のケアが必要。○「学校行事は充実しているか」に対して、保護者、2・3年生は高いポイントが出ているが、1年生のポイントが低いのでしっかり分析して来年度に活かしてほしい。○生徒にとって行事が充実していると学校が楽しいと感じるので行事の充実をお願いしたい。○中学校の時から学習習慣がなく、学習時間が「0」の生徒に対して、「高校に入学して70分の家庭学習時間」はあり得ない。実態にあった質問を行うべき。○多良木高校に来て良かった。多良木高校に育ててもらった。と感じている生徒が多い。○月の在校時間が80時間を超える先生方が10人前後いる。このことは、学校の問題なのか、県全体の状況がそうなのか、分析してもらいたい。○前回の会議で「1年1組の教室の整理整頓ができていない」と指摘したが、改善されたのか。改善した。○校外でのボランティア活動をよく目にした。○地域のボランティアができていのに、1年生は自分自身の身の回りの整理ができていない。○1年生の環境に対する意識を高める指導を行うべき。○就職・進学100%の指導ありがとうございました。○評議員の方々のご指摘の部分は、家庭教育で行わなければいけないこと。○社会生活は家庭生活からである。○家庭でゴミを拾わなければ、学校でも拾わない。○多良木高校に出して良かった。

#### 5 総合評価

##### 学校評価アンケートの結果

##### 生徒 ポイントが高い項目

- ・学校行事は充実している (77.8%)
- ・部活動に積極的 (64.8%)。

##### ポイントが低い項目

- ・ボランティア活動に積極的 (25.8%)
- ・授業の教え方・説明が分かりやすい (28.9%)
- ・悩み、相談を聞いてくれる (29.6%)

##### ポイントが落ち込んでいる項目

- ・図書館は利用しやすい (58.8%)

##### その他

- ・1年生のポイントが全体的に低い

##### 保護者 ポイントが高い項目

- ・入学させて良かった (73.3%)
- ・学校行事は充実している (66.7%)
- ・保護者や地域から信頼されている (61.5%)

##### ポイントが低い項目

- ・PTA 活動に協力的 (8.0%)

##### 職員 ポイントが高い項目

- ・開かれた学校づくり (77.8%)
- ・部活動は良い影響を与えている (75.3%)

##### ポイントが伸びている項目 (10ポイント以上)

- ・授業時数が確保されている (67.9%)

##### ポイントが落ち込んでいる項目 (10ポイント以上)

- ・人権教育の充実 (6.2%)
- ・学年、各分掌での意見交換 (23.5%)
- ・生徒の悩みに相談に応じている (55.6%)
- ・学校行事は充実している (72.8)
- ・授業の内容等工夫改善に努めている (43.2%)

以上の結果から、「学校行事は充実している」の項目は、生徒・保護者共に高い値が出ている。職員も70%を越えている。部活動は教育活動に大きな役割を果たしている。「授業の教え方・説明が分かりやすい」「悩み・相談を聞いてくれる」の項目のポイントが低い。理由としては、2・3年生は昨年と変わらないが、1年生のポイントが極端に低い、このことから1年生への指導を検討するべきと考える。

保護者は、本校の教育活動に一定の理解を示している。「PTA 活動への協力」のポイントが低いので、学校からの連絡等積極的に行い、保護者が協力しやすい手立てを行いたい。

職員は、「人権教育の充実」のポイントが落ち込んでいるが、これは職員研修が計画的にできなかったことにあり、生徒への人権教育が行われなかったということではない。来年度は、人権教育に係る職員研修を充実させたい。「生徒の悩みや相談に応じている」については、不慮の事故による反省により、ポイントが落ち込んだと考えられる。生徒への関わりを組織的に行いたい。「授業の内容等の工夫改善に努めている」については、研修会への参加、研究授業・公開授業等を積極的に行い、授業のスキルアップを図りたい。

今年度も「地域に根ざし、地域に開かれた学校づくり」を推進する中で、体育コースや福祉教養コースの地域との交流授業、多良木小学校での本の読み聞かせや保育園・施設等でのボランティア活動、えびす祭りやサイテク祭等の町のイベントへの参加、書道部や美術部の地域での作品展示、英語部やビジネス部の地域紹介のパンフレットやマップ作成など本校開催の学校行事以外でも生徒が多くの「感動体験」をすることができた。

## 6 次年度への課題・改善方策

学校活性化	特定の職員に負担が偏らないようにし、月の実働勤務時間数が80時間を超える職員を少なくするように努める。
学力向上	平均家庭学習時間は、昨年度より上昇したが、継続した指導で1日あたりの平均家庭学習時間を70分確保させる指導に努める。
進路意識	キャリア教育の観点から、先を見据えた学習プログラムの実践に努める。 就職内定辞退や離職を未然に防ぐ指導を進路指導部を中心に努める。 PTA と連携した進路企画は参加者が少なく実施できなかったが、来年度は再検討して計画したい。
生徒指導	自転車の二重ロックは計画的に行ったが、目標の95%は達成できなかった、集会等での啓発活動を行い、来年度は100%の指導に努める。
人権教育	実施予定していた人権LHRが、毎学期実施できなかった。来年度は毎学期実施する。 職員の言動等に関して保護者から指摘があったが、丁寧な説明により御理解いただいた。職員研修で改善に努める。
いじめ防止	部活動内での人間関係に関する課題があった。来年度は顧問会やキャプテン講習会を増やし意識改革に努める。